No. 8　　2009年4月

民主党神戸市会議員団 News

民主党神戸市会議員団室／TEL　078-331-8181（内7040）　FAX　322-6161

第1回定例市会は3月26日まで開催され、平成21年度当初予算案の審査を中心に審議しました。

2月26日には、会派を代表して、崎元祐治議員（須磨区）と平木ひろみ議員（中央区）が代表質疑に立ちました。

平成21年度当初予算	（対前年比伸率）
全会計	1兆8,083億2,200万円（△1.6%）
一般会計	7,527億1,500万円（＋3.5%）
特別・企業会計	1兆　556億　700万円（△5.0%）

また、平成20年度2月補正予算は総額341億3,800万円。

会派代表質疑

前半　崎元祐治議員（須磨区）

▲代表質疑に立つ崎元祐治議員

①雇用対策には労働者の視点を

Q 崎元議員　100年に1度の大変厳しいとき、緊急雇用対策を強力に展開すべきで、中長期的戦略による安定的な雇用創出策が必要ではないか。

A 矢田市長　厳しい経済情勢の中、医療産業をはじめとする成長産業の誘致、アクセスの利便性等を売りにした企業の誘致を進めてきた。

今後、ものづくり産業や物流関連産業の更なる振興に加え、観光の充実強化や農業分野での雇用の場の創出も一つの考えではないか考えている。

②市政120周年プランの展開を

Q 崎元議員　夢と希望にあるれ、明日への光明を見出していく取り組みを積極的に行うべきでは。

A 矢田市長　一つの節目の年として、あらためて市民のみなさんと明日の神戸づくりの基盤を築きたい。

市民の皆さまの日常生活を守り、将来に対する不安を払拭し、夢と希望がもてるように取り組んでいく。

③都心・ウォーターフロントのグランドデザインの策定を

具体的には、北神区民センターの整備、市民マラソンの検討、須磨区役所の建て替え、兵庫区民ホールの検討、ポートタワーの改修、危機管理センターの建設などが示された。

Q 崎元議員　環境問題を考えるとLRTのような交通体系が、将来の神戸のためには必須ではないか。

また、明治の頃のノスタルジックなみなとの面影を残し再現することで新たな観光スポットになり、国の内外にアピールできるのではないか。

A 矢田市長　神戸の今の状態に少し手を加えて変えていかなければならない。

都心とウォーターフロントが一体化される場合の回遊性が大事で、その際にLRTの検討もしていく必要がある。

現在、研究会を開催しており、議論をしているところで、今年の中ごろに提言をいただく予定だ。

▲シンボルロード完成イメージ

後半　平木ひろみ議員（中央区）

▲代表質疑に立つ平木ひろみ議員

①地域活動統合助成金

Q 平木議員　モデル事業では、統合対象8種類のうち5種類の助成金を選択したが、今後は地域のニーズに応じて柔軟に展開していくべきではないか。

A 矢田市長　モデル事業実施で効果や課題の検証を行うが、本格的実施に向けては地域特性を反映させる必要がある。各団体が「地域活動プラン」を一緒に作ることで、地域での団体間連携や世代間交流が進み、次世代リーダーの発掘や育成につながればと考えている。

②地域人材の活用について

Q 平木議員　地域活動の活性化につながる学校支援地域本部や教育・地域連携センターを設置して、どのように地域人材の活用を各学校で進めてくのか。

A 橋口教育長　退職教員をはじめとした人材を登録し、組織的に支援人材の確保と配置を行う教育・地域連携センターを設置する。教育委員会として、学校支援地域本部などを通じ、家庭・地域・学校の連携強化を図っていきたい。

Qその他の質疑項目

③自然エネルギー導入の更なる推進とグリーン電力証書の活用を

④医療産業都市構想推進を視野に入れたポートアイランド再開発グランドデザイン策定を

崎元議員、平木議員の代表質疑は録画放映でご覧いただけます。　神戸市会インターネット配信　検索